



2011-12年度国際ロータリーのテーマ

こころの中を みつめよう博愛を 広げるために

RI 会長：カルヤン・バネルジー
2800 地区ガバナー：細谷 伸夫
ガバナー 補佐：本多 信昭
会長：武田 寿美男 幹事：伊勢 和正
クラブ会報委員会
委員長：太田 幸一郎
委員：青山 恵一郎 木村 政則
金井 和義 相沢 そのみ

山形南ロータリークラブ会報

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2800

第1915 回例会

2011-9/13 (火) 天気 (晴れ)

□ 例会場：ホテルキャッスル
□ 点 鐘：PM12:30 武田寿美男 会長

□ 司会進行 (SAA)：神崎 祐子 君
□ ロータリーソング：「奉仕の理想」

会長挨拶



皆さんこんにちは。先日地区よりロータリー情報研修セミナーの案内がありました。今年は、委員会も含めて数多くのセミナーが開催されているようです。申込書にクラブリーダー候補者と新入会員の枠がありました。新入会員はわかりますが、クラブリーダー候補者って“だれ？”と非常に迷いました。

リーダー研修といえばロータリーの中には正式なものが1つあります。名称は『ロータリー・リーダーシップ研究会』というプロジェクトがあります。これは1992年、ロータリーをさらに学ぼうとアメリカで始められ、日本では3年前2008年6月に東京2750地区で開催され、その後いろいろな地区で開催されております。

研修は1日6時間、3日間のコースが基本になっており、講演などを聞くのではなく自由討論形式の勉強会で、参加者はクラブ会長の指名、研修終了後には修了証書が授与されます。参加した人からは好評のようですが、一方では将来の指導者養成とは何ものぞ、ロータリアンはみな平等ではないのかと反対意見も有るようで、いろいろと物議をかもし出しているようです。2800地区ではまだ行われたことはありません。

先週6日の例会終了後理事会があり、9月20日のいも煮会例会、10月22日の紅葉狩り例会の参加費の決議、9月25日の稲刈り例会、11月5日これは地区の行事になります。山折哲雄氏の講演会への例会変更等の状況説明を行っております。

最後に本日のゲストスピーカーのご紹介をさせていただきます。山形新聞論説委員長桑島誠一さんです。よろしくお願いいたします。

幹事報告 伊勢 和正 幹事

1. 来週20日の例会は蔵王つるやホテルさんですので、バスは出発がキャッスル17:15、山銀三日町支店17:20、パレスグランドール17:25、いばら木17:30となっております。遅れないように宜しくお願いします。
2. 10月1日土曜日に地区主催のロータリー情報研修セミナーが開催されます。将来クラブリーダーとなる会員の方を参加させて下さいとの事で、金田次期幹事他菊地賀治さん、太田幸一郎さん、神崎祐子さんの4名の方にご参加いただくことになっています。
3. 2010-2011年度の2800地区資金決算書が届きました。収入34,693,718円、支出31,316,592円となり3,377,126円は次年度繰越となっております。また特別会計は、a地区基金・b災害特別・cWCS特別・dGSE特別・e規定審議会旅費積立の5項目からなり、この期は16,663,547円の次年度繰越でした。

委員会報告

- ニコニコBOX 宮舘 順治 君
金田 亮一 君 9月の始めからホームページが新しくなっております。また会報もホームページで閲覧できるようになりました。



例会場／ホテルキャッスル 例会日／毎週火曜日 12:30～13:30

事務所／山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社 社務所ビル2F TEL.023-632-7777 FAX.023-624-5200



『出羽三山の魅力』

山形新聞論説委員長 桑島 誠一 氏

皆さんこんにちは。山形新聞に入社して35年、ずっと新聞記者をしておりましたが、4年前から論説委員長を務めております。毎日何を書くか悩んでおりますが、1つにはやはり新しいニュースについて、それと週末などは自分で買い物に出かけ野菜や肉などの価格を見たり、買い物をされている人の様子などを見て原稿を書いております。

本日の『出羽三山の魅力』という話は、私の個人的な部分をお話させていただきます。以前東京支社勤務をしていたころ、同じように他県から東京勤務になった友人ができて、その友人の中に山好きが多かったんです。そこで富士山、アルプス、筑波などいろいろと連れて行ってもらいました。山形に戻ってみると、山形には素晴らしい山が沢山あることに気づき毎週のように登りました。登りながらいろいろな物を知ったり、触れたりするうちに出羽三山にぶつかりました。皆さんご存知だと思いますが、関東から東北一円に献額、石塔があります。裏を見ますと北関東、福島、宮城、岩手こういった所から山形まで来て参拝をして帰っていく。今回被災された方のご先祖様もかなりの方が参拝に見えたのだらうと思います。江戸時代山形の歳入といえは米、紅花、そして出羽三山に参拝に観えた参拝者が落ちていくお金が3大収入だったんです。意外に思われるかもしれませんが江戸時代、神社仏閣に行くということは観光に行くようなもので、伊勢参りと同じように出羽三山に参拝に来ていました。信仰心があったのは当然なんです。同時に観光的な要素が非常に強かった。出羽三山には御縁年というのがありまして、今年卯年御縁年なんです。一番の御縁年は丑年御縁年です。江戸中期にはこの丑年御縁年には15万人の参拝者があったと言われてます。月山は夏スキーで知られるほどの雪が有るわけですから冬は登れない。夏場の3ヶ月ほどの間に15万人の人が来ていた、これは驚くべき数字です。

・真言宗と天台宗

元々は神仏習合下で出羽三山の寺院は真言宗（真言密教）だったのが、岩根沢の日月寺出身で羽黒山中興の祖天宥（第50代別当）が、江戸時代将軍徳川家康・秀忠・

家光三代の信頼を受け、寛永寺造営などで知られる天台宗の天海大僧正、その天海大僧正に弟子入りして羽黒山を天台宗に改宗してしまいます。ところが大日寺、本道寺、大日坊、注連寺の4カ寺が反目して大先達が幕府に申し立てをします。結果天宥は負けて新島に流罪になってしまいます。今でも山が二分された形になっていて当時のことが語り継がれています。

・神仏分離令

1968年明治政府により神仏分離令が出されました。出羽三山でも非常に大変だったそうです。羽黒山の隨身門を戻っていくと以前はここにお寺があったとの説明を受けますし、羽黒山には五重塔もあります。五重塔は元々仏教関係の建物になります、それでも羽黒山は神社なんです。従来の寺院をとるか神社の方を取るかの選択に迫られた出羽三山も根底を揺るがす事になります。当時の政府が復古神道を進めたため、多くが神道化しました。（日月寺は出羽三山神社、本道寺は口之宮湯殿山神社、大日寺は大井沢湯殿山神社、羽黒山修験本総本山は荒沢寺）

・六十里越街道

現在いろんな形で出羽三山が見直されている中で、旧街道を歩いてみようという試みがなされています。旧朝日村や西川町の皆さんがボランティアで整備しなおして歩けるようにしています。6月頃から秋の紅葉の季節まで気持ちよく歩くことができます。ぜひ皆さんもご自身だけでなく、お子様も連れて行ってほしいと思います。皆さんもご存知の齊藤茂吉さんも出羽三山に登っています。大人への通過儀礼として明治29年茂吉が15歳の時には父親とともに登り三山参りをしています。また昭和5年には長男の茂太さんが15歳の頃に連れて登っています。茂太さんもまた子供を連れて登っています。大変な思いをして登ったその経験がずっと心に残っているそうです。今は自動車道やリフトも有りますからご家族に合わせた登り方でかまいませんし、私自身もこういった伝統を守っていきたいと思います。つたない話ですが今日はありがとうございました。

○本日出席・前回修正出席 **出席率 100%ありがとうございました。引き続きご協力お願いします！**

	会 員 総 数	出席義務会員数	出席会員数	出席率
本 日	5 4 名		3 9 名	
前回修正	5 4 名	4 6 名	4 6 名	1 0 0 %
他クラブで メイクアップ された 会 員	(山形中央) 加藤 昭弘 (山形東) 武田 和夫 (山形イブニング) 佐藤 親男 (地 区) 武田 和夫	菊川 明 菊地 賀治	鈴木 利明 阿部 薫 鈴木 利明	